

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 旭有機材株式会社

コード番号 4216 URL <https://www.asahi-yukizai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 中野 賀津也

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 松居 秀 TEL 03-5826-8836

配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期第1四半期 | 20,009 | △1.1 | 2,163 | △22.8 | 2,153 | △28.5 | 1,360 | △24.9 |
| 2025年3月期第1四半期 | 20,229 | △3.8 | 2,803 | △31.2 | 3,012 | △30.8 | 1,812 | △34.5 |

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △584百万円(ー%) 2025年3月期第1四半期 3,260百万円(10.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期第1四半期 | 72.40 | ー |
| 2025年3月期第1四半期 | 95.35 | ー |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期第1四半期 | 102,351 | 76,627 | 74.3 | 4,046.22 |
| 2025年3月期 | 105,772 | 78,262 | 73.4 | 4,133.27 |

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 76,002百万円 2025年3月期 77,637百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | ー | 55.00 | ー | 55.00 | 110.00 |
| 2026年3月期 | ー | | | | |
| 2026年3月期(予想) | | 60.00 | ー | 60.00 | 120.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 41,500 | △0.6 | 4,400 | △25.3 | 4,400 | △24.2 | 3,000 | △21.4 | 159.72 |
| 通期 | 85,000 | △0.2 | 9,000 | △19.1 | 9,100 | △19.1 | 6,400 | △16.1 | 340.73 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、 除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7 「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2026年3月期1Q | 19,800,400株 | 2025年3月期 | 19,800,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期1Q | 1,016,948株 | 2025年3月期 | 1,017,060株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2026年3月期1Q | 18,783,323株 | 2025年3月期1Q | 19,000,778株 |

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人 : 無
によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (四半期連結損益計算書) | 5 |
| (第1四半期連結累計期間) | 5 |
| (四半期連結包括利益計算書) | 6 |
| (第1四半期連結累計期間) | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (追加情報) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、緩やかな回復基調が継続し、設備投資需要も底堅く推移しました。ただし、人手不足の影響により、計画は維持されているものの、進捗および実行に遅れなどがありました。一方、米国経済については、関税政策をめぐる不確実性の高まりによる停滞感があり、企業の設備投資についても慎重な姿勢が継続しています。

こうした環境下、当社グループは中期経営計画「GNT2025」に基づき、海外および半導体関連製品を中心に成長を追求する施策を推進しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、中国では、新設された半導体工場向けの装置搬入需要が一部で見られたものの、国内の人手不足や米国の不透明な経済環境により、半導体工場建設分野では案件の見直しや延期が継続し、全体としては減収となりました。さらに、労務費や減価償却費などの固定費増加も重なり、減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20,009百万円(前年同期比△1.1%)、営業利益は2,163百万円(前年同期比△22.8%)、経常利益は2,153百万円(前年同期比△28.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,360百万円(前年同期比△24.9%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 管材システム事業

管材システム事業は、樹脂バルブを主力製品として樹脂管材市場を拡大することを基本戦略としています。耐食問題の解決と樹脂管材の機能性を追求した製品開発により、お客様へのお役立ちに貢献する営業活動を推進しています。

樹脂バルブ等をはじめとする基幹製品は、米国関税の影響を注視する動きから国内外の設備投資や工場建設需要が伸び悩み、前年同期比で減収となりました。

樹脂配管材料等を用いたエンジニアリング事業は、工場建設案件の遅延による影響から、前年同期比で減収となりました。

半導体製造装置向けダイマトリックス製品は、国内市場が需要の一服感を見せる中においても、中国におけるローカルメーカーの需要拡大を着実に取り込んだことで、前年同期比で増収となりました。

利益面では、売上高の減少に加え、労務費や減価償却費等の固定費増加の影響により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は12,087百万円(前年同期比△7.0%)、営業利益は1,850百万円(前年同期比△27.2%)となりました。

② 樹脂事業

電子材料製品は、低メタル化技術を追求し、半導体の高度化に貢献しています。国内は、センサーやパワー半導体などのレガシー半導体向けフォトレジスト材料の需要が回復傾向にあります。加えて、生成AI関連の後工程向け材料の需要の拡大等により、前年同期比で増収となりました。

また、中国でも液晶・有機ELなどのFPD(フラットパネルディスプレイ)分野の需要が旺盛であったことから、前年同期比で増収となりました。なお、南通電材第二工場は、2025年9月の着工に向け準備を進めています。

自動車や建設機械等に必要なた部品製造に用いる素形材製品では、お客様の製造品質や生産性の向上、臭気低減による作業環境の改善など、国内外の多様な製造工程に最適な製品を提案することでお客様の課題解決に取り組みました。

国内では、原料価格の変動に対応した価格改定を実施するとともに、環境対応型の高付加価値品への切り替えを推進した結果、前年同期比で増収となりました。海外においても、中国、インド、メキシコの各市場で、お客様ニーズに合致した高付加価値製品への切り替えを進めたことにより、前年同期比で増収となりました。

発泡材料製品は、建築現場での施工によって最終製品となるため、施工品質向上への取組みにより、お客様への安心・安全の提供をしています。現場発泡断熱材においては建築着工の減少、トンネル掘削用の土木材料においては受注済物件の完工に伴い出荷量が減少し、前年同期比で減収となりました。

利益面では、減価償却費や労務費等の固定費の増加があったものの、素形材事業における高付加価値品の販売促進や、半導体向けフォトレジスト材料および中国でのFPD分野の需要の取り込みに加え、断熱材の吹き付け施工を行う子会社のランドウィック社における追加工事の完了により前年同期比で増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6,056百万円(前年同期比+8.9%)、営業利益は369百万円(前年同期比+49.7%)となりました。

③ 水処理・資源開発事業

水処理事業では、水処理設備の設計・施工や、水資源を有効に活用できる水再生システムの構築に取り組んでいます。また、施設や設備の安定稼働を支えるメンテナンスサービスや環境改善薬剤の提供にも注力しています。

官庁案件は順調に工事が進捗し、民間案件では一部で進捗の遅れがあったものの、全体としては前年同期比で増収となりました。

メンテナンスサービスは複数の修繕工事の着工が前倒しとなり、前年同期比で増収となりました。一方、環境改善薬剤は製品出荷量の減少により前年同期比で減収となりました。

資源開発事業は、再生可能エネルギーである地熱発電の蒸気井などの掘削工事や温泉開発工事を行い資源の有効活用に貢献しています。

地熱掘削工事は概ね計画通りに案件が進捗しましたが、温泉開発工事は案件数の減少と工事進捗の遅れがあり、前年同期比で減収となりました。

利益面では、資源開発事業の減収や全事業の固定費の増加等により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,867百万円(前年同期比+11.6%)、営業損失は34百万円(前年同期の営業損失は15百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は102,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,421百万円減少しました。これは主に現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産などの流動資産の減少によるものです。負債は25,724百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,786百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金などの流動負債の減少によるものです。純資産は76,627百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,635百万円減少しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加があった一方、主に為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 24,059 | 21,686 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 16,067 | 14,993 |
| 電子記録債権 | 6,991 | 7,089 |
| 棚卸資産 | 21,505 | 21,385 |
| その他 | 996 | 1,153 |
| 貸倒引当金 | △56 | △51 |
| 流動資産合計 | 69,563 | 66,254 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 6,754 | 6,706 |
| その他(純額) | 20,016 | 19,439 |
| 有形固定資産合計 | 26,770 | 26,145 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 741 | 721 |
| その他 | 1,655 | 2,448 |
| 無形固定資産合計 | 2,397 | 3,170 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,404 | 2,527 |
| 退職給付に係る資産 | 2,892 | 2,346 |
| その他 | 1,763 | 1,928 |
| 貸倒引当金 | △17 | △18 |
| 投資その他の資産合計 | 7,042 | 6,783 |
| 固定資産合計 | 36,208 | 36,097 |
| 資産合計 | 105,772 | 102,351 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,579 | 5,117 |
| 電子記録債務 | 3,902 | 3,819 |
| 短期借入金 | 3,700 | 3,400 |
| 未払法人税等 | 796 | 823 |
| その他 | 6,189 | 5,137 |
| 流動負債合計 | 20,165 | 18,296 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,200 | 2,050 |
| 退職給付に係る負債 | 1,887 | 2,131 |
| 株式給付引当金 | 73 | 82 |
| 役員株式給付引当金 | 159 | 170 |
| 長期前受金 | 1,263 | 1,246 |
| その他 | 1,761 | 1,749 |
| 固定負債合計 | 7,344 | 7,428 |
| 負債合計 | 27,509 | 25,724 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,000 | 5,000 |
| 資本剰余金 | 8,537 | 8,537 |
| 利益剰余金 | 60,282 | 60,601 |
| 自己株式 | △2,766 | △2,767 |
| 株主資本合計 | 71,052 | 71,370 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 588 | 673 |
| 為替換算調整勘定 | 5,702 | 4,217 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 294 | △258 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,584 | 4,632 |
| 非支配株主持分 | 626 | 625 |
| 純資産合計 | 78,262 | 76,627 |
| 負債純資産合計 | 105,772 | 102,351 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 20,229 | 20,009 |
| 売上原価 | 12,085 | 12,299 |
| 売上総利益 | 8,144 | 7,710 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,341 | 5,547 |
| 営業利益 | 2,803 | 2,163 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 51 |
| 受取配当金 | 44 | 38 |
| 為替差益 | 135 | — |
| 不動産賃貸料 | 30 | 29 |
| その他 | 14 | 21 |
| 営業外収益合計 | 233 | 138 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5 | 14 |
| 不動産賃貸費用 | 11 | 11 |
| 為替差損 | — | 119 |
| 出資金評価損 | 5 | — |
| その他 | 4 | 4 |
| 営業外費用合計 | 24 | 148 |
| 経常利益 | 3,012 | 2,153 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | — |
| 特別利益合計 | 2 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 14 | 4 |
| 特別損失合計 | 14 | 4 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,999 | 2,149 |
| 法人税等 | 1,148 | 765 |
| 四半期純利益 | 1,851 | 1,384 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 39 | 24 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,812 | 1,360 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,851 | 1,384 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 108 | 84 |
| 為替換算調整勘定 | 1,308 | △1,500 |
| 退職給付に係る調整額 | △8 | △552 |
| その他の包括利益合計 | 1,409 | △1,967 |
| 四半期包括利益 | 3,260 | △584 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,183 | △593 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 77 | 9 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(退職金規程および確定給付企業年金規約の改訂)

当社は、退職金規程および確定給付企業年金規約の改訂を行い、2025年4月1日付で最終給与比例方式からポイント制へ移行いたしました。

移行等に伴う会計処理については、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号平成28年12月16日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取り扱い」(実務対応報告第2号平成19年2月7日)を適用しております。

改訂に伴い、退職給付債務が795百万円増加いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損益の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 財務諸表 計上額 |
|---------------------------------|--------------|-------|----------------|--------|--------------|----------------------|
| | 管材システム 事業 | 樹脂事業 | 水処理・資源 開発事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,995 | 5,562 | 1,673 | 20,229 | — | 20,229 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高(注) 2 | 76 | 1 | 0 | 78 | △78 | — |
| 計 | 13,071 | 5,563 | 1,673 | 20,307 | △78 | 20,229 |
| セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) | 2,539 | 247 | △15 | 2,771 | 33 | 2,803 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用であります。
2. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損益の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 財務諸表 計上額 |
|---------------------------------|--------------|-------|----------------|--------|--------------|----------------------|
| | 管材システム 事業 | 樹脂事業 | 水処理・資源 開発事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,087 | 6,056 | 1,867 | 20,009 | — | 20,009 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高(注) 2 | 63 | 1 | 2 | 66 | △66 | — |
| 計 | 12,150 | 6,057 | 1,868 | 20,075 | △66 | 20,009 |
| セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) | 1,850 | 369 | △34 | 2,185 | △22 | 2,163 |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用であります。
2. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 600百万円 | 815百万円 |
| のれんの償却額 | 19 " | 19 " |